

避難するタイミング

◎ 危険度（警戒レベル）に応じた避難を ◎

水害・土砂災害時にとるべき避難行動が、切迫度に応じて5段階の警戒レベルに区分されています。警戒レベル1～2の情報は気象庁が発表し、警戒レベル3～5の情報は市が発令します。

市や気象庁からだされる警戒レベルを確認し、避難のタイミングを逃さず行動しましょう。

警戒レベル	住民が取るべき行動	行動を促す情報
警戒レベル 5	すでに災害が発生している状況です。 命を守るための最善の行動を取ってください。	災害発生情報※1 ※1 災害が実際に発生していることを把握した場合に、可能な範囲で発令（市が発令）
警戒レベル 4 全員避難	避難指示(緊急) 災害の危険が目前で「勧告」よりも拘束力が強く、直ちに避難を求める段階です。直ちに避難し、対象地域の全員の方が必ず避難してください。避難できない場合は命を守る最低限の行動を取ってください。	避難指示(緊急)※2 避難勧告 (市が発令) ※2 状況に応じて緊急的又は重ねて避難を促す場合等に発令
	避難勧告 被害の拡大が予想され、事前に避難を要すると判断された場合に避難を勧め、促す段階で発令されます。 開設された避難所や親戚・知人宅などに速やかに避難しましょう。立退き避難ができない場合は、屋内で安全確保をしましょう。要配慮者の方などは避難を完了してください。	
警戒レベル 3 高齢者等は避難	災害の発生する可能性が高まった状況であり、避難行動に時間を要する方が避難行動を開始しなければならない段階です。 高齢者・障害のある方・乳幼児など、特に行動に時間を要する方(要配慮者)は、避難行動を開始しましょう。それ以外の方も、避難準備を開始しましょう。	避難準備・高齢者等避難開始 (市が発令)
警戒レベル 2	最新の気象情報に注意し、災害に備えた早めの準備を開始してください。 ハザードマップ等で避難行動の確認をしてください。	大雨、洪水等注意報 (気象庁が発表)
警戒レベル 1	気象情報や空の変化に注意し、災害への心構えを高めてください。	早期の注意情報(警報級の可能性) (気象庁が発表)

※各種の情報は警戒レベル1～5の順番に発令されるとは限りません。状況が急変することもあります。

◎ 自主判断による避難 ◎

身の危険を感じるなど、その場所に留まることが危険と自ら判断した場合は、自主的に避難を開始してください。

! 例えばこんなとき...

- 軽微な漏水・侵食等を発見した場合
- 近隣の地区で床下浸水や道路冠水が発生した場合
- 土砂災害の前兆現象(湧き水・地下水の濁り、溪流の水量の変化等)を発見した場合



動きやすい服装で避難を

ポイント

- ヘルメットや防災頭巾などで頭を保護
- 軍手や革手袋などで手を保護
- ひもで締められる底の厚い運動靴など履き慣れたものが良い
※長靴は、水が入ると足を取られる危険性があるので注意

荷物は少なく、非常持ち出し品は両手が空くリュックがオススメ

長袖、長ズボンで